

# 介護保険事務所からのお知らせ

## 介護保険に関するよくある質問 ～確定申告等の介護保険料(社会保険料)控除について～

1月1日から12月31日までに支払った介護保険料は、申告の際、社会保険料控除として計上することができます。金額は下記の方法でご確認ください。

- ①65歳以上で特別徴収(年金天引き)により納めている場合  
翌年の1月下旬に、日本年金機構等から「公的年金等の源泉徴収票」が送付されます。この通知書に、年金から天引きされた金額が、社会保険料の金額として記載されています。また、遺族年金および障害年金(非課税年金のため日本年金機構等から源泉徴収票は送付されません)から特別徴収されている方で申告をされる場合は、翌年1月以降に「介護保険料納付証明書」を発行しますので、介護保険事務所へお問い合わせください。
- ②65歳以上で普通徴収(納付書払い)により納めている場合  
納付した際の領収証書でご確認ください。納付した年ごとの合計になりますので、領収印の年月日でご確認ください。

- ③65歳以上で普通徴収(口座振替)または②の方法により納めている方で、領収証書を紛失した場合  
①と同様、翌年1月以降に「介護保険料納付証明書」を発行しますので、介護保険事務所へお問い合わせください。
- ④40歳から64歳までの方で健康保険に加入している方  
加入している健康保険組合等に直接お問い合わせください。
- ⑤その他  
当年中に介護保険料の納め方が、「普通徴収から特別徴収に切り替わった方」、「特別徴収から普通徴収に切り替わった方」、「特別徴収のほかに普通徴収の追加があった方」、「普通徴収(納付書払い)から普通徴収(口座振替)に変わった方」、「他の市町村から転入した方」、「65歳になった方」などは、それぞれで納付した額の合計金額になります。

上記のほか、介護保険事務所のホームページ「OS介護ネット(<https://www.oskaigonet.or.jp/>)」内の「介護保険料Q&A」にも、介護保険料に関するさまざまな情報を掲載しています。

問●介護保険事務所 保険給付班 ☎0187(86)3911

美郷町にサンタさんがやってくる!  
子育て支援  
クリスマス楽しみ会

認定子ども園に入っていないお友だち、  
子育てを頑張っているお家の方、一緒にクリスマスを楽しみましょう!!

日時★12月18日(金) 午前10時～午前11時20分  
会場★美郷町住民活動センター(畑屋字街道東)

参加を希望される方は12月11日(金)までに各園へお知らせください

「ひまわり広場」 千畑なかよし園 ☎0187(85)3115	「あそびにおいで」 六郷わくわく園 ☎0187(84)0023	「ひだまり」 仙南すこやか園 ☎0187(83)2100
--------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------

Merry Christmas

## カンゾウを収穫しました！

町試験ほ場と農家ほ場に定植しているカンゾウの収穫作業を行いました。このうち農家ほ場では、大きいもので直径2cmほどのカンゾウを収穫しています。今回収穫したカンゾウは、薬効成分の分析など、今後のカンゾウ出荷に向けた各種試験に活用していきます。



町ではカンゾウのほか、キキョウ、エイジツ、センブリを栽培してみたい方を募集しています。興味のある方はお気軽に町農政課までお問い合わせください。



目指せ！

# 生薬の里美郷



問●町農政課 農業振興班 ☎0187(84)4908

文

化

財

探



訪

No.9

## 美郷町の歴史と文化をたどる

### 一本杉

今月は、昭和61年に天然記念物として指定した六郷地区野中の一本杉をご紹介します。

#### 一本杉について

六郷地区野中の児童公園内にある一本杉は、樹高23m、幹回り4.3mであり、樹齢300年といわれています。遠くから見ると春のふきのとうに形が似ていることから「バツキヤ杉」とも呼ばれています。

六郷町「六郷町史文化編」や、千畑村公民館「わが郷土の資料」によると、伝説の主人公である「おかね」が貝内窪説、鎌田庚塚説、野中説の3つの説とともに語られてきており、野中説がこの一本杉の由来と重なり残されています。

野中説は、桃の節句の餅つきにまつわる主人公おかねの不幸な出来事が元になっています。昔から餅は正月に食べるものといわれていますが、餅なし正月と呼ばれる正月を起点としたある期間に、餅をつかず、食わず、供えず、というタブーを継承している家・一族・地域のあることも知られています。

餅なし正月の慣わしは、先祖が戦に敗れて落ち延びた、あるいは戦の最中が正月で、餅の用意もできなかったということがあり、その苦難を偲ぶために子孫は正月に餅を食べないといういわれをもつことが多いようです。おかね伝説の真実は分かりませんが、いつの頃からかこれらの言い伝えが一つの形として残されてきたように思われます。



一本杉